

プーチンも米NATOも ウクライナで 戦争やめろ

Putin & USNATO
Stop the War
in Ukraine

●ロシア・プーチンによるウクライナ侵攻は、多くのウクライナ民衆を殺戮し、同時に1万5千人以上のロシア兵士を死に追いやっています。

●他方、アメリカ・NATOは軍事支援を野放図に拡大し、停戦どころか、戦争の長期化・泥沼化を引き起こし、「アメリカの戦争」と言われるまでになっています。ウクライナは新兵器の実験場となり、米軍事産業は空前の利益を上げています。事態は、核戦争・世界戦争に向かって暴走しています。

●そもそも、この戦争を生み出した張本人はアメリカとNATOです。ソ連崩壊後の東欧をEUに組み込み、労働者を低賃金・無権利で搾取し、NATO加盟を拡大して、ロシアに核を含む軍事重圧をかけて、プーチンの暴発を引き起こしたのです。

次々と送り込まれる
アメリカの武器



世界中で起ち上がる労働者とともに

戦争をとめよう

●世界中で、労働者民衆が反戦デモに起ち上がっています。侵攻直後、ロシアの民衆がただちにデモに起ち、イギリスでは最大の労働組合が「NATOの戦争にも反対」とデモ。ギリシャでは戦車を積んだ列車に立ちはだかって阻止。イタリアでは武器・弾薬の輸送を拒否。この戦争をとめられるのは、各国の労働者とその国際連帯です。一緒に行動に起とう。



改憲・戦争阻止！大行進

連絡先：千葉県千葉市中央区要町2-8 動労千葉氣付 TEL.043-222-7207
東京都台東区元浅草2-4-10 Email kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp 2022年6月発行 ブログはこちら→



日本政府はウクライナを利用して

核ミサイル配備するな

●「敵基地攻撃」「核共有」叫ぶ政府

ウクライナ戦争を利用して、「中国が攻めてくる」とあり、安倍元首相や岸田首相が「核共有」や「敵基地攻撃」を叫んでいます。

●岸田首相、日米会談で「約束」

5月22日に来日したバイデン米大統領は、「台湾有事には軍事的に関与する」(戦争する!)と言明し、「中国が主敵だ」とくり返しています。重大事態です。共同声明では「核抑止」「拡大抑止」と言って、要は日本に核を配備することを確認しているのです。

岸田首相は、「あらゆる選択肢を検討する」と言って、核配備と「軍事費の相当の増額」まで「約束」しました。

●南西諸島がふたたび戦場に、日本全土に核ミサイル

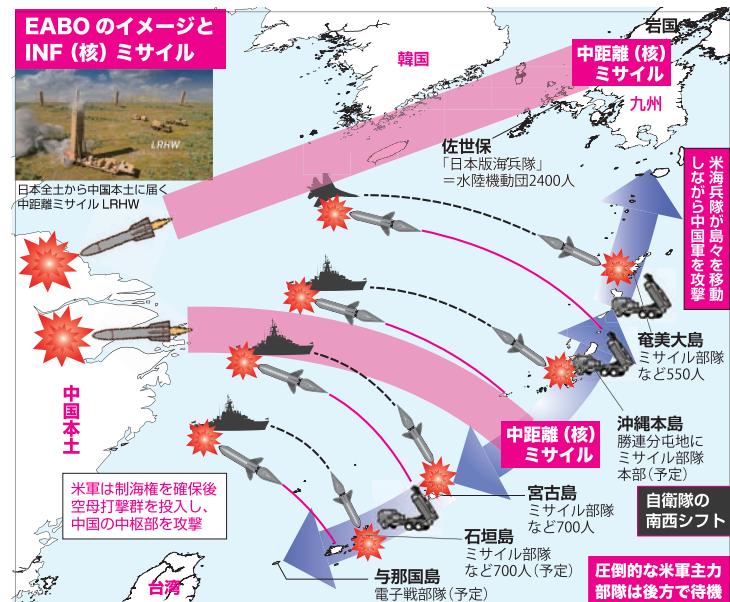
すでにアメリカは日本全土に中距離核ミサイル配備をもくろみ、自衛隊は沖縄・南西諸島へのミサイル部隊配備を次々に進めています。昨年来、米軍と自衛隊の空前の大演習がくり返され、いずれも中国が標的です。岸田政権は過去最大の軍事予算を組み、さらに倍増を公言し、実際に戦争をするために憲法改悪を説明しています。

●155万の住民が犠牲に！

昨年12月、米軍と自衛隊が国会にもはからず、「台湾有事」を想定した新たな日米共同作戦計画の原案を策定していたことが共同通信のスクープで発覚。この計画では、米海兵隊の「遠征前方基地作戦(EABO)」に基づき、南西諸島のうち奄美大島、宮古島、石垣島などの有人島を含む約40か所を勝手に軍事拠点化して中国軍とミサイルを撃ち合うことが想定されています。それは不可避に核戦争になります。絶対に止めよう！

●核ミサイル配備反対署名に協力を

南西諸島に住む155万の人々を、4人に1人が亡くなった沖縄戦の惨禍をはるかに上回る核戦争の災厄にたたきこむ戦争計画です。しかも、自衛隊幹部は「申し訳ないが、自衛隊に住民を避難させる余力はない」と言い放っているのです。被曝地ヒロシマから「INF核ミサイル反対署名」が呼びかけられています。署名拡大にぜひご協力ください。



「台湾有事」への日米の介入は 中国への侵略戦争だ

2月にも実施された、対中国の米日共同演習。米空母や強襲揚陸艦など1万人とともに自衛隊護衛艦なども参加。自衛隊版海兵隊「水陸機動団」も加わって、ミサイルで中国の基地を先制攻撃し、上陸まで狙う侵略戦争作戦だ！